

ふるさと花園を愛し
夢とこころざしを持ち
まごころと思いやり
のある花中生

志高く

真摯に学ぶ生徒
心を磨く生徒
体を鍛える生徒

2020.5.12

制作者

萩原大典

夢を持ち 未来へ羽ばたく 3年生

11日は、家庭訪問に対応していただきありがとうございました。この時期にしては「暑い！」1日でした。あらかじめ連絡をしていたので、今回も生徒の顔を見ることができました。ほとんどの生徒が「みんな元気です」と言ってくれました。6月1日再開に向けて、心と体の準備をしてください。そのために、「授業再開に向けての生活記録」用紙を配布しました。授業も始まっていないのですが、時間割を意識して、授業の時間帯を意識して生活してほしいです。(このようなものは全く必要ないという方がいいのですが、気になる生徒用だと思ってください)

保護者の方へ

今回の家庭訪問では、回収物の内容に関して混乱をきたしてしまい申し訳ありませんでした。今後は、連絡メールにて回収物（タイトルのみ）を、ホームページにてその内容を記載します。連絡を入れていただいた方々、ご指摘ありがとうございました。

本音を言います。今回の家庭訪問は非常に気が重いそのような状態でした。前回は、みなさんの顔が見たくて、予定時刻の10分以上も前に着いてしまったという家もありました。しかし、今回は学校を出る前に、いえ、朝自宅を出る時から腹痛が治まりませんでした。



昨年の10月。みなさんが主役となった新人戦では、多くの部が県大会に出場しました。団体種目での出場が多く、花園中全体が活気づきました。「また今回もバス代が大変だなあ」とうれしい悲鳴を上げていた先生方。

また、県大会を逃しはしたものの、あと一步でという部も数多くありました。残念な結果に終わってしまった部は、他の部の活躍を見て自分たちの取り組みを反省し、最後の学総こそは絶対に悔いの残らない試合をすると気持ちを入れ替えて練習に取り組んでいたという部もありました。顧問の先生方も、ひたむきに努力する皆さんの姿に引っ張られて気合を入れて指導をしてくださいました。すべてが順調に6月に向けて進んでいたところでした。



3月の休校以来、保護者の方とともに、いつ本番の日がやってきてもいいように準備をしていたことを知っています。トレセンのグラウンドで毎日のように練習をしていた人たちを知っています。まだ外出がままならない時からボールを蹴っていた人を知っています。授業が終了する15時30分以降に練習を開始し、学習との両立を徹底していた人たちを知っています。施設使用が制限された後も、毎日ランニングや体幹トレーニングに取り組んでいた人を知っています。花園地区外から練習の場を



求めてたくさんの人が花園に来ている中、子供のために保護者の方が場所を探していたという部を知っています。

そして、私事で大変申し訳ありませんが、来る日も来る日もテニスコートでボールを打っていた女子ソフトテニス部の皆さん。みんなの思いに心打たれて毎日のように指導に来てくれた卒業生、みなさんの関東大会出場の目標を達成するために、毎日コーチに来てくださった指導者の方、その方々の思い



に応えようと暗くなるまでボールを打っていた女子ソフトテニス部の皆さん。花園中に入学する前から部活に備えてソフトテニスに取り組んでいた女子ソフトテニス部の皆さん。そして、その子供たちの思いを真正面から受け止めて、時間も手間も惜しまずにテニスコートに来てくださった保護者の方々。その方々の思いに、期待に応えることができなくて何といえいい言葉が見つかりません。

家庭訪問の時にプリントに書かれている「学総中止」の文字を見て、説明を聞いて固まってしまった人。「えっ・・・」と絶句してしまった人。「私たち、もうこれで引退なんですか・・・」と消え入るような声で聞いてきた人。何も言わずにその文字を見つめて涙ぐんでいた人。そのような生徒や保護者の方々に、学校総合体育大会が中止である旨を伝えることは、胸が張り裂ける思いでした。

3年生の主任としては、とにかく今は健康管理を徹底して、学校から出された課題に取り組み、6月の学校再開に備えてください、来年の入試に気持ちを向けてくださいとしか言えません。本当に申し訳ありません。

